

EpsonPrintFactory for DPE

管理者向け 操作ガイド

マークの意味

！重要 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンター本体が損傷したり、プリンター本体、プリンタードライバーやソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版

Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版

Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版

本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008 (R2 含む)、Windows Vista、Windows 7 と表記しています。また、これらを総称名として「Windows」を使用しています。

商標

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。EPSON ステータスマニタはセイコーエプソン株式会社の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

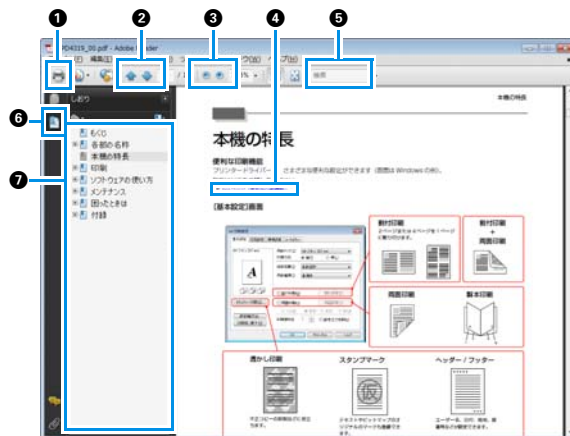
本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。



著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。本製品は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE® ソフトウェアを搭載しています。

PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Reader 9 で表示したときを例に説明します。



1	PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
2	前ページ / 次ページを表示します。
3	表示中の文字が小さくて見えにくいときは  をクリックすると拡大します。  をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューでマーカーズームを選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。
4	参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。元のページに戻るときは、Alt キーを押したまま ← キーを押します。
5	確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。
6	クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
7	タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。

もくじ

お使いになる前に 4

事前準備..... 4

バージョンの確認 4

アプリケーションの起動と終了..... 5

アプリケーションの起動 5

アプリケーションの終了 6

使い方 7

管理メニューの表示 7

プリントチャンネル読込 9

 プリセットファイルのエクスポート ... 9

 プリセットファイルの読み込み ... 10

メディア設定 11

システム設定 12

サービス設定 13

ジョブ管理 15

ジョブの自動削除設定 16

テンプレートの登録 17

テンプレートの編集 20

テンプレートの解除 22

データコピーサービス 25

 データコピーサービスの準備 ... 25

 データコピーサービスの処理の流れ ... 29

 処理済みデータの削除 ... 30

こんなときは 31

商標・その他 32

お使いになる前に

事前準備

本アプリケーション（Print Factory for DPE）を初めてお使いのときや、サービス内容を変更するときは、以下の設定 / 変更が必要です。

🔗 [「プリントチャンネル読込」 9 ページ](#)

🔗 [「メディア設定」 11 ページ](#)

🔗 [「システム設定」 12 ページ](#)

🔗 [「サービス設定」 13 ページ](#)

各設定は、本アプリケーションを起動後、管理メニュー画面で行います。管理メニュー画面の表示方法は、「管理メニューの表示」を参照してください。

🔗 [「管理メニューの表示」 7 ページ](#)

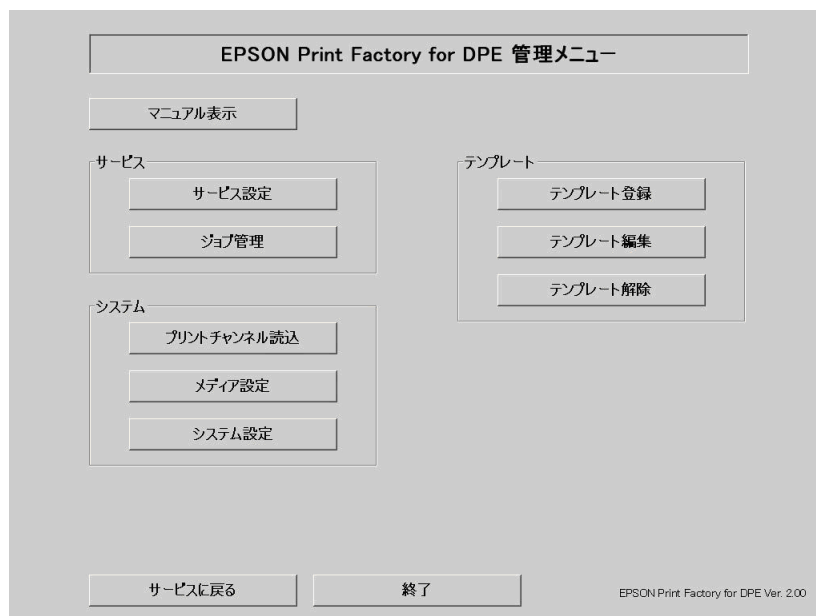
！重要

管理メニューの操作にはマウスとキーボードが必要です。コンピューターに接続されているか確認してください。

バージョンの確認

本アプリケーションのバージョンは、管理メニューに表示されます。管理メニュー画面の表示方法は、「管理メニューの表示」を参照してください。

🔗 [「管理メニューの表示」 7 ページ](#)



アプリケーションの起動と終了

ここでは、本アプリケーションの起動と終了の手順を説明します。

アプリケーションの起動

以下のいずれかの方法で起動することができます。

- デスクトップ上の「Print Factory for DPE」ショートカットアイコンをダブルクリックする。
- スタートメニュー→すべてのプログラム→EPSON Print Factory for DPE → Print Factory for DPE の順にクリックする。

参考

インストール時にスタートアップに登録した場合、コンピューターを立ち上げると自動的に起動します。

本アプリケーションが起動すると、トップメニュー画面が表示されます。

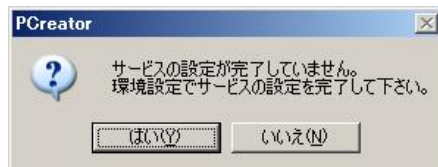


参考

本アプリケーションをお使いになるには、提供するサービスやご使用になるメディアなど、下記設定が必要です。

- ☞ 「プリントチャンネル読込」 9 ページ
- ☞ 「メディア設定」 11 ページ
- ☞ 「システム設定」 12 ページ
- ☞ 「サービス設定」 13 ページ

設定が完了していないと、次のメッセージが表示されます。



はいをクリックして、各項目の設定を確認してください。設定は、管理メニューから行います。管理メニューの表示方法は、「管理メニューの表示」を参照してください。

- ☞ 「管理メニューの表示」 7 ページ

アプリケーションの終了

1 画面の四隅を番号順にタッチします。

マウスを使っている場合は、タッチする場所にマウスポインタを移動して、クリックしてください。

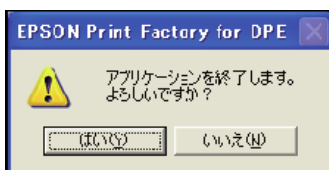


参考

管理メニューのシステム設定で、「[終了] と [管理メニュー] を表示」にチェックを付けているときは、画面の終了をクリックします。

- ☞ 「システム設定」 12 ページ

2 はいをクリックします。



使い方

管理メニューの表示

管理者用のメニュー画面は、以下の手順で表示できます。

参考

管理メニューのシステム設定で、「[終了] と [管理メニュー] を表示」にチェックを付けているときは、画面の管理メニューをクリックします。

[「システム設定」12 ページ](#)

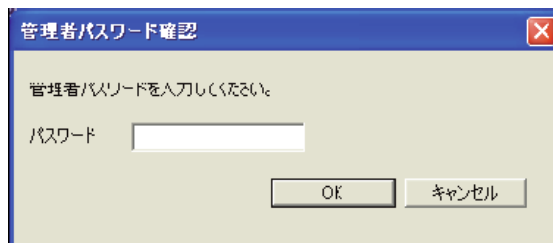
1 画面の四隅を番号順にタッチします。

マウスを使っている場合は、タッチする場所にマウスポインタを移動して、クリックしてください。

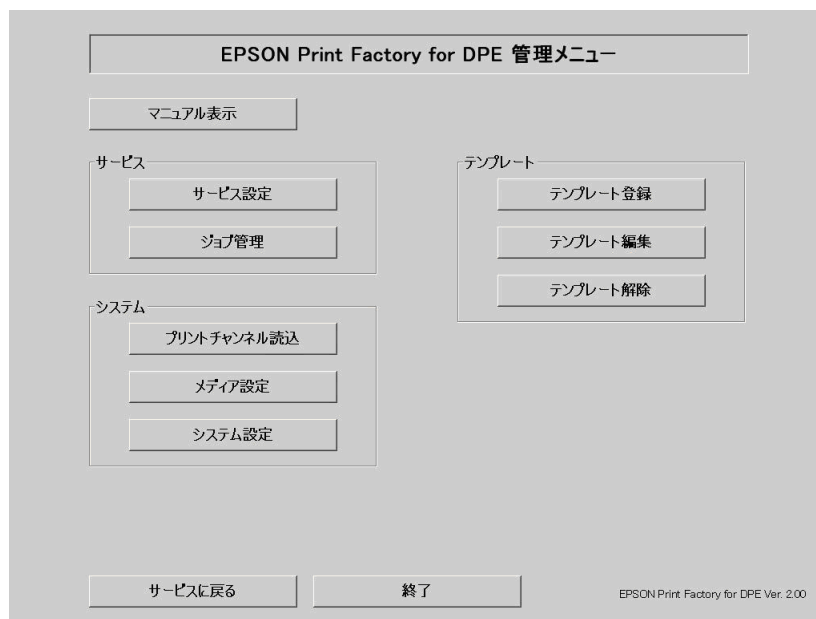


2 管理者パスワードを入力し、OK をクリックします。

管理者パスワードは、「00001」です。



3 管理メニューが表示されます。



項目		説明
マニュアル表示		電子マニュアル（PDF）を表示します。
サービス	サービス設定	取り扱うサービスとその詳細を設定します。 🔗 「サービス設定」13 ページ
	ジョブ管理	保存されているジョブの一覧を表示して、ジョブの削除ができます。 🔗 「ジョブ管理」15 ページ
システム	プリントチャンネル読込	SureLab OrderController に設定されているプリセットを読み込みます。 🔗 「プリントチャンネル読込」9 ページ
	メディア設定	使用するメディアを設定します。設定したメディアが、メディア選択の画面に表示されます。 🔗 「メディア設定」11 ページ
	システム設定	画面の表示方法など本アプリケーションの基本的な動作を設定します。 🔗 「システム設定」12 ページ
テンプレート	テンプレート登録	フレームプリント、カレンダー、シンプルフレームサービスで使用するテンプレートを登録できます。 🔗 「テンプレートの登録」17 ページ
	テンプレート編集	テンプレート一覧（フレームプリント、カレンダー、シンプルフレームサービス注文時）のテンプレート表示順を変更できます。 🔗 「テンプレートの編集」20 ページ
	テンプレート解除	登録されているテンプレートをテンプレート一覧から削除します。 🔗 「テンプレートの解除」22 ページ
サービスに戻る		管理メニューを終了し、トップメニューに戻ります。
終了		本アプリケーションを終了します。

プリントチャンネル読込

Print Factory for DPE で受け付けた注文は、SureLab OrderController によって処理されます。そのため、Print Factory for DPE で提供するサービスとプリントサイズの設定を SureLab OrderController 上に設定されているプリセット（ペーパー幅や面質などの設定の組み合わせ）と関係付ける必要があります。

[プリントチャンネル読込]では、その準備として、SureLab OrderController に設定されているプリセットを読み込みます。

初めてお使いになるときは、この作業が必要です。また、SureLab OrderController で作成したオリジナルサイズのプリントを Print Factory for DPE から注文したい場合などにも、この作業が必要です。

！重要

プリントチャンネルを読み込んだ後に、設定済みのプリントサイズを変更した状態で、プリントチャンネルを読み込むと、対応用紙や価格などサービス設定の内容がリセットされます。

プリセットファイルのエクスポート

あらかじめ、SureLab OrderController のプリセットをファイルにエクスポートしておく必要があります。プリセットのファイルのエクスポート方法は、SureLab OrderController 取扱説明書「プリセットのエクスポート」を参照してください。

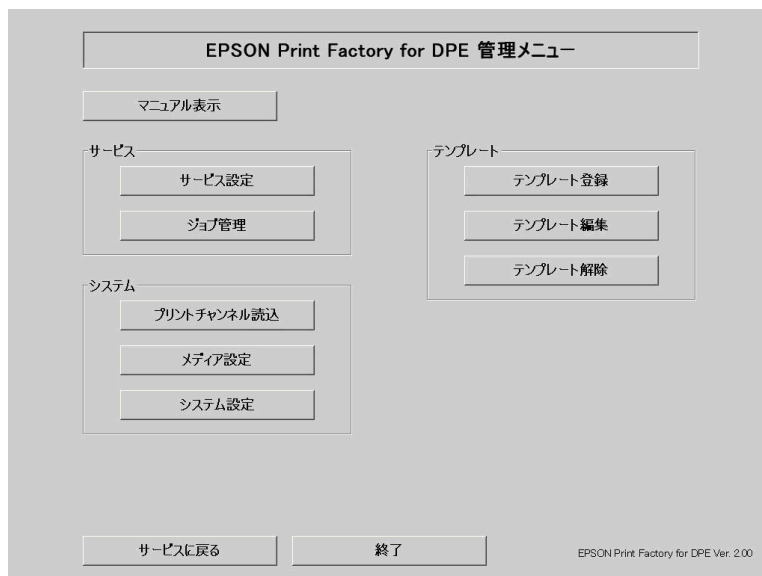
次の操作は、SureLab OrderController が動作している PCで行ってください。

- 1 SureLab OrderController から、プリセットファイルをエクスポートします。
- 2 スタートメニューからエクスプローラーを起動（スタートボタンを右クリックし、表示されたメニューからエクスプローラーをクリック）します。
- 3 プリセットのエクスポートで保存先に指定したフォルダーを開きます。
- 4 USB メモリなどに「ch_data.csv」をコピーします。

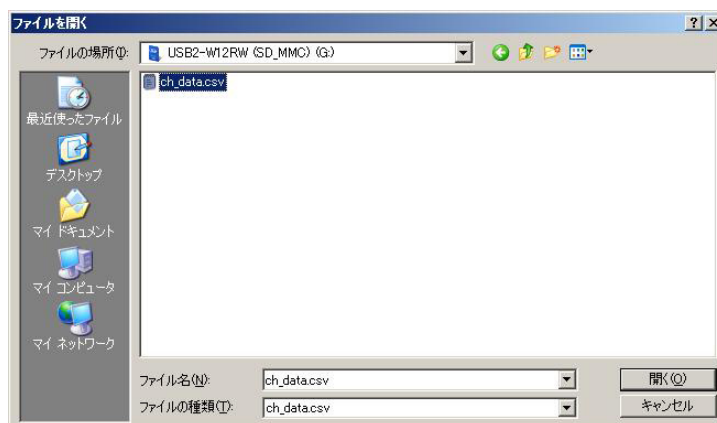
プリセットファイルの読み込み

SureLab OrderController のプリセットのファイルのコピーが終わったら、以下の手順でファイルの読み込みを行います。

- 1 エクスポートしたファイル (ch_data.csv) を保存した **USB メモリ**などを、**PrintFactory** が起動しているコンピュータに接続します。
- 2 管理メニューからプリントチャンネル読込をクリックします。



- 3 SureLab OrderController からエクスポートしたファイル「ch_data.csv」を選択します。



- 4 下記メッセージが表示されたら、はいをクリックします。



以上で、プリントチャンネルの読み込みは終了です。

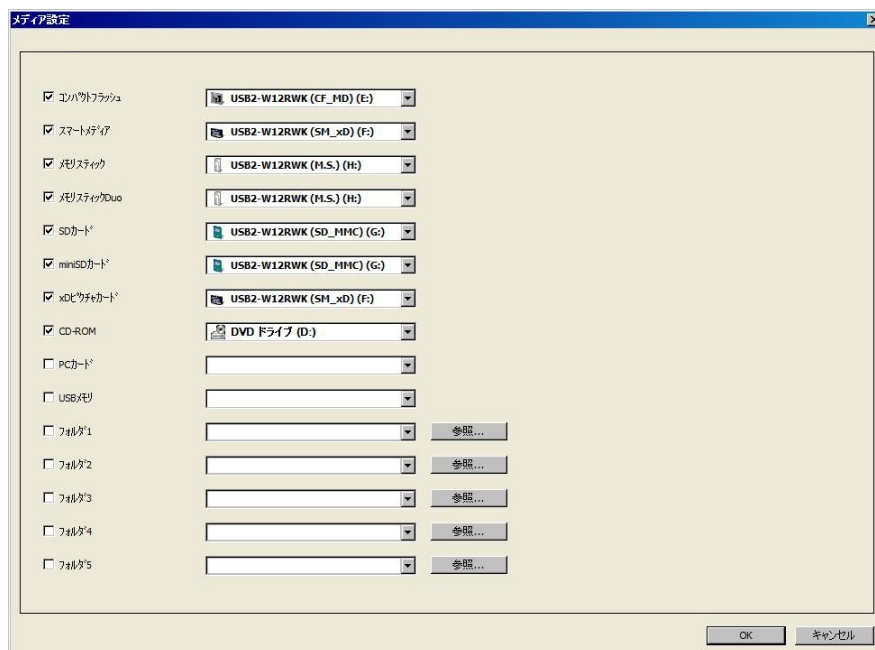
メディア設定

使用するメディアを設定します。ここで設定したメディアが、メディア選択の画面に表示されます。どのメディアがどのドライブに割り当てられているかの情報が設定に必要です。事前に確認しメモしておくことをお勧めします。

！重要

< USB メモリを設定する場合のご注意 >

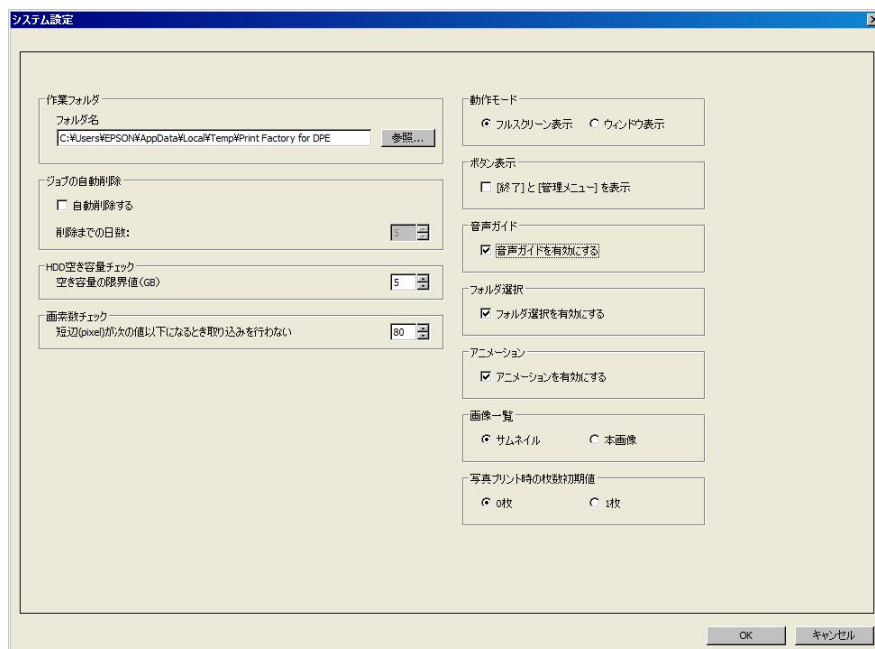
他の USB 機器をすべて接続した後で USB メモリを接続し、ドライブを選択してください。先に USB メモリを接続してしまうと、ドライブの割り当てを正しく設定できない場合があります。



項目	説明
メディア	メディア選択の画面に表示させるメディアにチェックを付けて、リストからドライブを選択します。
フォルダ	コンピューター内のフォルダーをメディア選択の画面に表示させることができます。[フォルダ] にチェックを付けて、参照をクリックしてフォルダを指定します。

システム設定

画面の表示方法など本アプリケーションの基本的な動作を設定します。



項目	説明
作業フォルダ	作業中のファイルを保存するフォルダを指定します。 通常は変更する必要はありません。変更するときは、参照をクリックして作業フォルダを指定します。
ジョブの自動削除	プリントが終了したジョブを自動削除するかしないかを選択します。 自動削除する場合は、自動削除するにチェックを付けて、プリント終了後、何日経過したら削除するか日数を指定します。1～14（日）に設定できます。
HDD 空き容量チェック	ハードディスクの空き容量が設定した値を下回ると、アプリケーションが実行できなくなります。 5～9（GB）の範囲で設定できます。
画素数チェック	短辺方向の画素数（Pixel）が設定した画素数に満たないと、注文時の写真一覧に表示されません。80～999（Pixel）に設定できます。
動作モード	〔フルスクリーン表示〕を選択するとスクリーン全体に表示します。〔ウィンドウ表示〕を選択すると一般的な Windows アプリケーション同様にウィンドウ表示します。
ボタン表示	チェックを付けると、トップメニューに〔終了〕、〔管理メニュー〕のショートカットボタンを表示します。
音声ガイド	チェックを付けると、各画面の使い方を音声で説明します。
フォルダ選択	チェックを付けると、写真選択前にフォルダ選択する画面が表示されます。
アニメーション	チェックを付けると、ページ切替をアニメーション表示します。
画像一覧	〔サムネイル〕を選択すると、写真一覧の表示にサムネイル画像を使用します。〔本画像〕を選択すると、実際の画像を縮小して表示します。
写真プリント時の枚数初期値	〔0枚〕を選択すると、写真一覧で表示される注文数の初期値が0になります。〔1枚〕を選択すると、初期値が1になります。

サービス設定

取り扱うサービスとその詳細を設定します。

トップメニューに表示されるサービスごとに設定します。設定するサービスをクリックしてから各項目を設定します。

参考

- データコピーを選択した場合のみ、設定項目が異なります。データコピーの設定方法は、「データコピーサービス」を参照してください。
[「データコピーサービス」 25 ページ](#)
- 以下の設定はサービス種別に関わらず、共通です。
 - レシート印刷
 - 画面表示
 - CD
 - DVD

項目	説明
サービス	チェックを付けると、選択されているサービスで「用紙サイズ」に設定されているプリントサイズが選択可能になります。チェックされたサービスは、トップメニューに表示されます。
用紙サイズ	プリントする用紙サイズを選択します。 プリントチャンネル読込で読み込まれた用紙サイズが選択できます。フレームプリント、カレンダー、シンプルフレームでは、使用可能なテンプレートが登録されている場合のみリストに表示されます。
ボタン表示	用紙サイズのボタン表示名称を指定します。 同じサービス内で同名の表示名を設定できません。ボタン表示は、「用紙サイズ選択」画面に表示されます。
価格(¥)	用紙サイズごとに価格を設定します。
処理時間(分)	用紙サイズごとにプリント時間の目安を設定します。
読み込み画像表示順	[撮影日時昇順] を選択すると、写真選択時に撮影日時の早い順に写真が表示されます。[撮影日時降順] を選択すると、撮影日時の遅い順に写真が表示されます。

項目	説明	
レシート印刷	チェックを付けると、注文時にレシートが印刷されます。	
	引換票を印刷	クリックすると、レシートと一緒に引換票が印刷されます。
	引換票の自動カット	チェックを付けると、レシートと引換票の間が自動的にカットされます。
	メッセージ	チェックを付けると、引換票にメッセージを印刷します。メッセージの内容は、右の空白部分にキーボードで入力します。
	メッセージを注文確認画面にも表示する	チェックを付けると、メッセージが注文確認画面にも表示されます。
	店舗情報	チェックを付けると、レシートに店舗情報が印刷されます。店舗情報の内容は、右の空白部分にキーボードで入力します。
画面表示	価格を表示する	チェックを付けると、画面およびレシートに価格を表示します。
	消費税を表示する	チェックを付けると、価格の総額（内税）と消費税を別々に表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 税率：消費税率を指定します。 • 端数処理：消費税の端数処理を選択します。総額に対して端数処理を行います。
	処理時間を表示する	チェックを付けると、画面に予想処理時間を表示します。
CD	メディア価格	CD1枚あたりの販売価格を設定します。
	メディア処理時間	CD1枚あたりの処理時間を設定します。
	メディア1枚の容量	データコピーサービスのみで有効です。書き込むデータサイズが設定値を超えると、複数枚のCDに分けて書き込まれます。
DVD	メディア価格	DVD1枚あたりの販売価格を設定します。
	メディア処理時間	DVD1枚あたりの処理時間を設定します。
	メディア1枚の容量	データコピーサービスのみで有効です。書き込むデータサイズが設定値を超えると、複数枚のDVDに分けて書き込まれます。

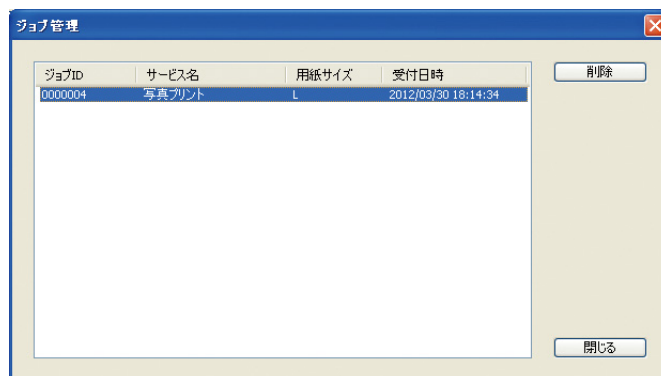
ジョブ管理

保存されているジョブの一覧が表示されます。

ジョブを選択し、削除をクリックすると、選択したジョブを削除できます。

参考

- 一度削除したジョブは復元できませんので、ご注意ください。
- ジョブを削除しても、環境によってはデータが残ることがあります。削除したデータが残っているときは、下記フォルダ内の該当データを削除してください。
- Windows XP の場合：C:\Documents and Settings\All Users\共有ドキュメント\order
- Windows Vista/ 7 の場合：C:\Users\Public\Documents\order



ジョブの自動削除設定

共有フォルダ内のプリントデータを定期的に自動削除します。

！重要

データコピーサービス用のデータは自動削除されません。書き込み処理が終了したデータは下記フォルダに保存されるので、手動で削除してください。

- Windows XP の場合：C:\Documents and Settings\All Users\共有ドキュメント\Media
- Windows Vista/ 7 の場合：C:\Users\Public\Documents\Media

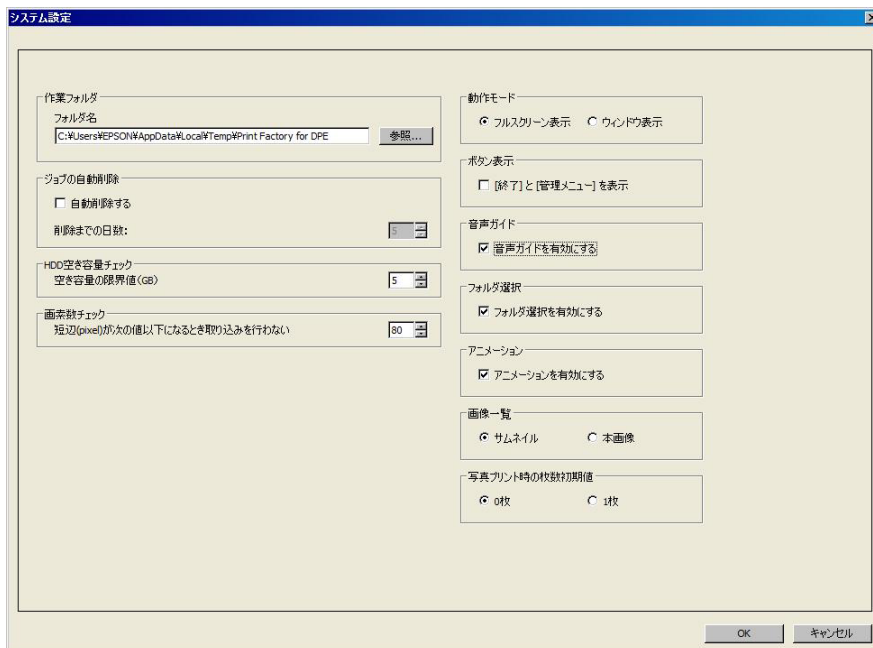
1 管理メニューを表示させます。

管理メニュー画面の表示方法は、「管理メニューの表示」を参照してください。

[🔗 「管理メニューの表示」7ページ](#)

2 システム設定をクリックします。

3 [ジョブの自動削除] の [自動削除する] にチェックを付けて、削除までの日数を設定します。



参考

ジョブを自動削除するように設定していても、環境によってはデータが残ることがあります。指定の日数を経過してもデータが残っているときは、下記フォルダ内の該当データを削除してください。

- Windows XP の場合：C:\Documents and Settings\All Users\共有ドキュメント\order
- Windows Vista/ 7 の場合：C:\Users\Public\Documents\order

テンプレートの登録

フレームプリント、カレンダー、シンプルフレームサービスで使用するテンプレートを登録します。

！重要

テンプレート解除を行ったテンプレートを再度使用するときも、テンプレートの登録が必要です。

[🔗 「テンプレートの解除」 22 ページ](#)

1 管理メニューを表示させます。

管理メニュー画面の表示方法は、「管理メニューの表示」を参照してください。

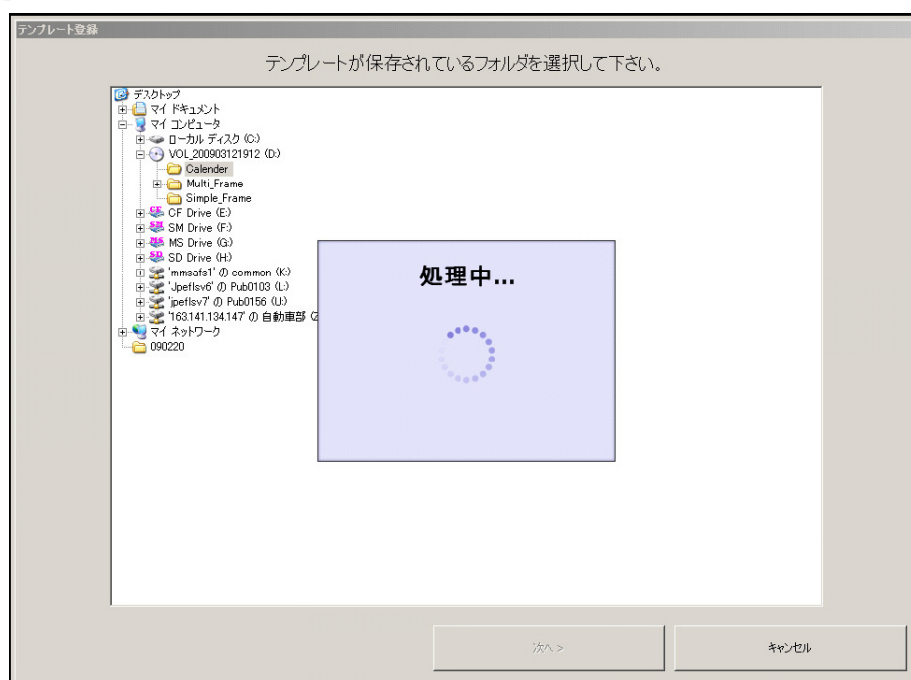
[🔗 「管理メニューの表示」 7 ページ](#)

2 テンプレート登録をクリックします。

3 登録するテンプレートが入っているフォルダを選択します。

参考

- テンプレート解除を行ったテンプレートを再度使用する場合は、下記フォルダを選択してください。
C:\Program Files\EPSON\Print Factory for DPE\Template
- 選択されたフォルダに登録可能なテンプレートが存在しているか自動的にチェックされます。チェックに時間がかかるときは、「処理中」のメッセージが表示されます。



4 次へをクリックします。

編集可能なテンプレートが表示されます。

参考

選択されたフォルダに登録可能なテンプレートがない、または登録済みのときは、[次へ] は有効になりません。

5 登録するテンプレートを選択し、次へをクリックします。

!重要

テンプレートは、サービス毎に登録する必要があります。異なるサービスに登録するテンプレートは選択しないでください。

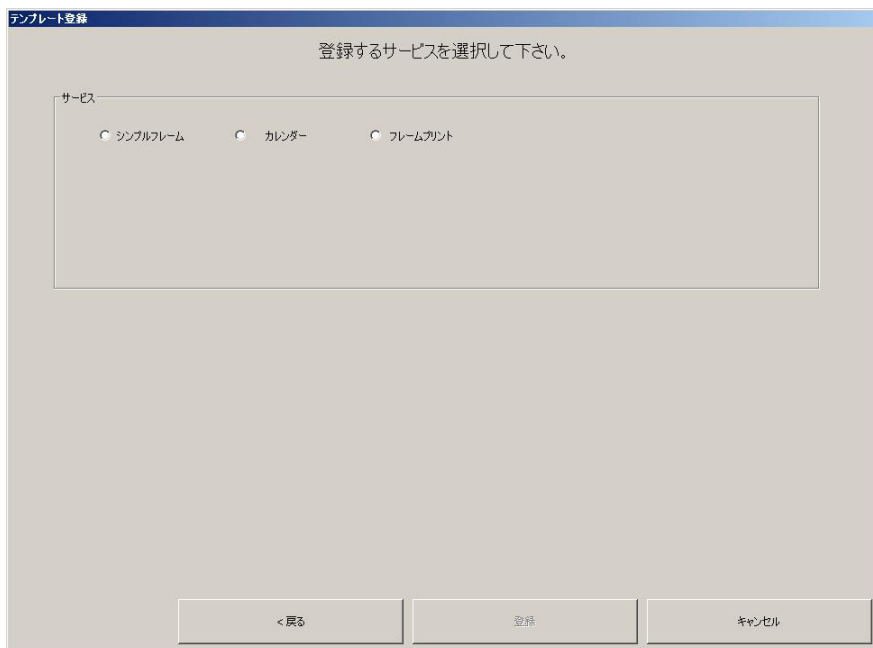
参考

- 全選択をクリックすると、リスト内のテンプレートをすべて選択します。
- Shift キーを押しながらクリックすると、連続する複数のテンプレートを選択します。
- Ctrl キーを押しながらクリックすると、クリックしたテンプレートを複数選択します。



項目	説明
サムネイル	テンプレートのイメージが表示されます。
対応用紙サイズ	テンプレートを使用できる用紙サイズの一覧が表示されます。テンプレートに登録しても、ここに表示されない用紙サイズでは使用できません。
タイトル	お客様の注文画面に表示されます。
ファイル名	テンプレートのファイル名が表示されます。

6 選択したテンプレートを使用するサービスを選択し、登録をクリックします。



参考

登録に時間がかかるときは、「処理中」のメッセージが表示されます。

7 登録が完了すると、以下の画面が表示されます。終了をクリックします。



参考

登録するテンプレートは複数選択が可能です。

テンプレートの編集

テンプレート一覧（フレームプリント、カレンダー、シンプルフレームサービス注文時）でのテンプレートの表示順を変更できます。

1 管理メニューを表示させます。

管理メニュー画面の表示方法は、「管理メニューの表示」を参照してください。

[🔗 「管理メニューの表示」7ページ](#)

2 テンプレート編集をクリックします。

3 テンプレートの表示順を変更するサービスを選択します。

テンプレート順序変更

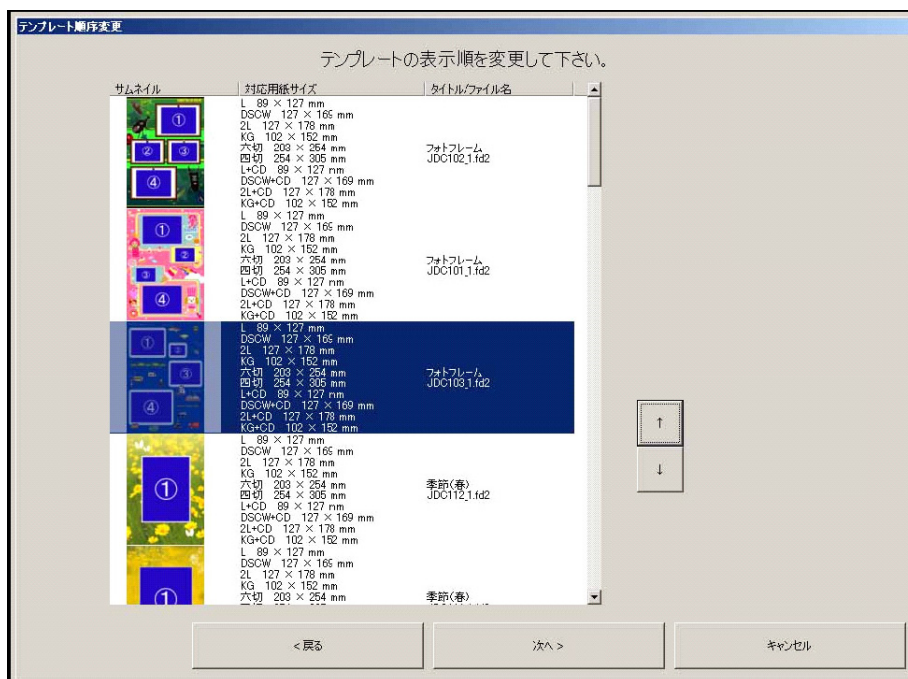
テンプレートが登録されているサービスを選択して下さい。

サービス

フレームプリント カレンダー シンプルフレーム

次へ > キャンセル

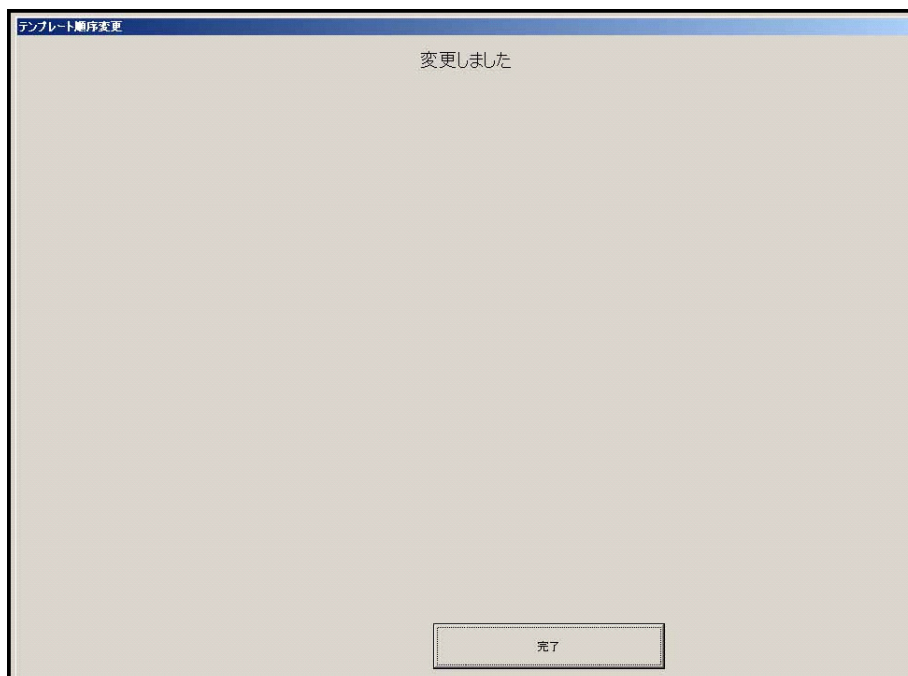
4 ↑ ↓ ボタンをクリックして表示させたい順序に並べ替え、次へをクリックします。



参考

変更内容の保存に時間がかかるときは、「処理中」のメッセージが表示されます。

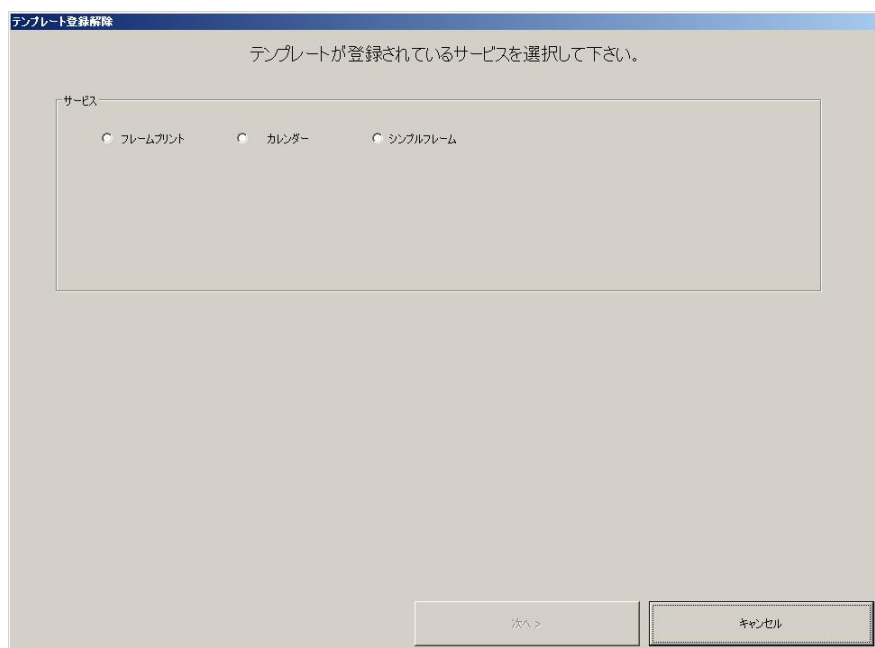
5 保存が完了すると、以下の画面が表示されます。完了をクリックします。



テンプレートの解除

登録済みのテンプレートをテンプレート一覧から削除します。

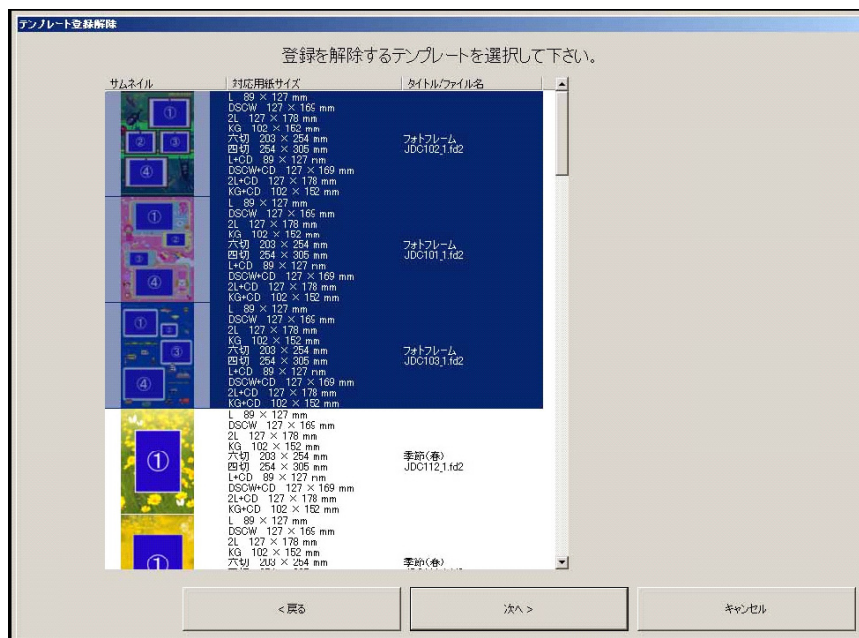
- 1 管理メニューを表示させます。
管理メニュー画面の表示方法は、「管理メニューの表示」を参照してください。
[🔗 「管理メニューの表示」7ページ](#)
- 2 テンプレート解除をクリックします。
- 3 テンプレートの登録を解除するサービスを選択します。



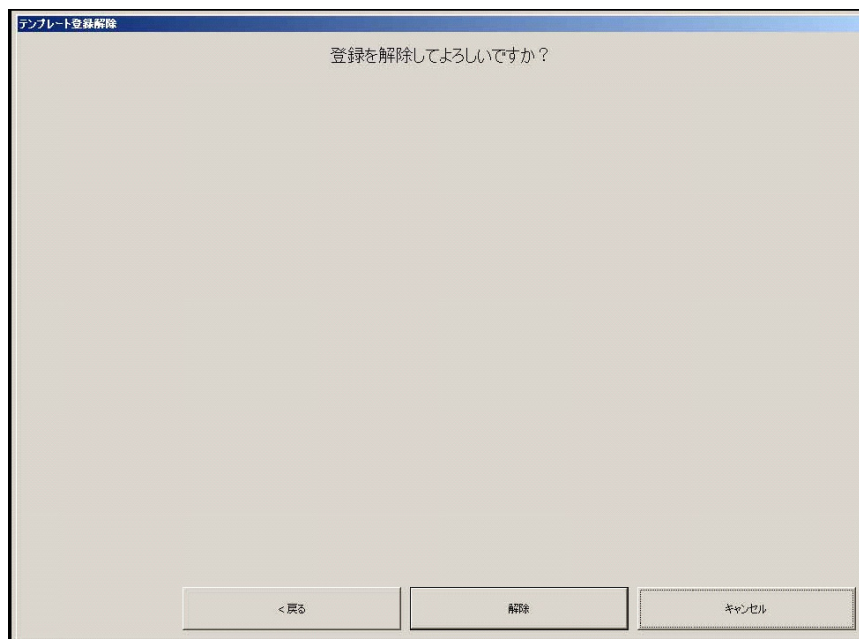
4 登録を解除するテンプレートを選択し、次へをクリックします。

参考

- 全選択をクリックすると、リスト内のテンプレートをすべて選択します。
- Shift キーを押しながらクリックすると、連続する複数のテンプレートを選択します。
- Ctrl キーを押しながらクリックすると、クリックしたテンプレートを複数選択します。



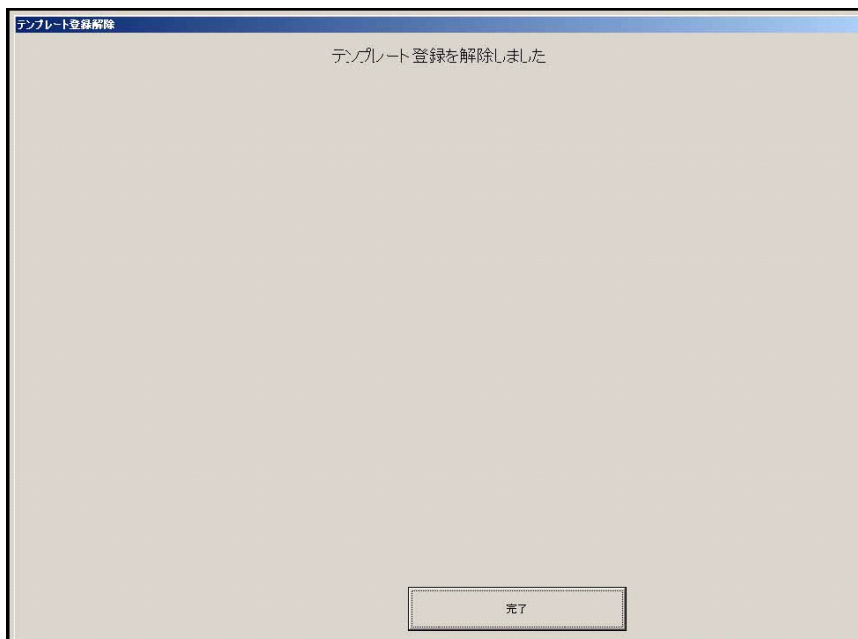
5 解除をクリックします。



参考

登録の解除に時間がかかるときは、「処理中」のメッセージが表示されます。

6 解除が完了すると、以下の画面が表示されます。完了をクリックします。



データコピーサービス

データコピーサービスとは、お客様がお持ちのメディアに保存されている画像ファイルを、CD や DVD（以下、出力メディアと呼びます。）にコピーするサービスです。

！重要

Print Factory for DPE では、出力メディアへの書き込み処理は行わないため、CD/DVD の書き込みソフトウェアを導入した PC（以下、書き込み用 PC と呼びます。）を別途用意していただく必要があります。

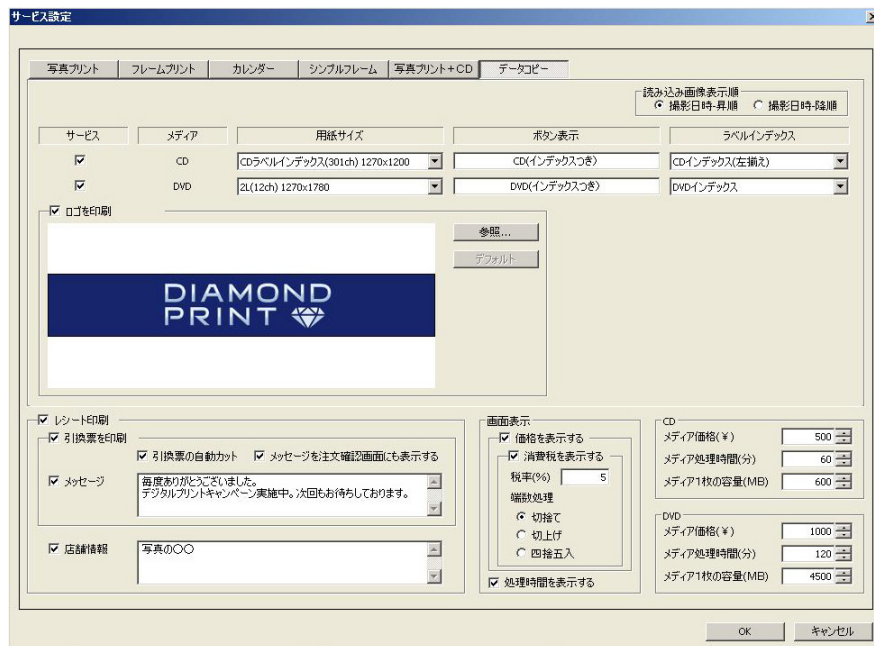
データコピーサービスの準備

Print Factory for DPE のサービス設定と、共有フォルダのネットワークドライブ割り当てをします。

サービスの設定

以下の手順で、サービスの詳細を設定します。

- 1 管理メニューを表示させます。
管理メニュー画面の表示方法は、「管理メニューの表示」を参照してください。
[🔗 「管理メニューの表示」 7 ページ](#)
- 2 サービス設定をクリックします。
- 3 データコピーをクリックし、各設定を行います。

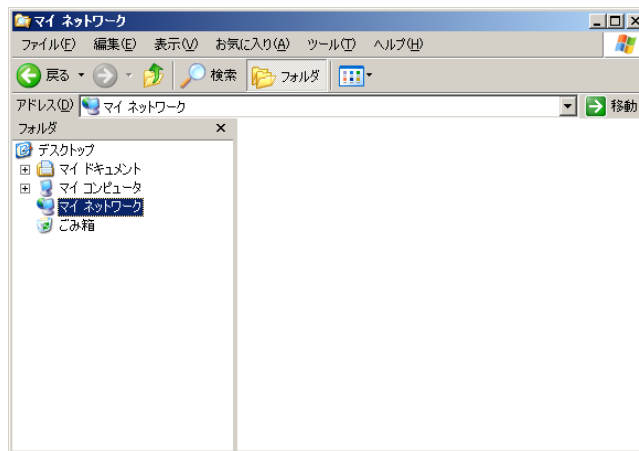


項目	説明	
サービス	チェックを付けると、メディアに表示されている出力メディアがデータコピーサービスで選択可能になります。	
用紙サイズ	インデックスプリントで使用する用紙サイズを指定します。	
ボタン表示	メディアのボタン表示名称を指定します。データコピーサービスの [メディア選択] 画面に表示されます。	
ラベルインデックス	インデックスのサイズを指定します。	
	CD インデックス (中央揃え)	12cm CD ケース用インデックス。 CD ケースにそのまま入る場合に使用します。このインデックスを指定するには、用紙サイズに 1200×1270 のプリントチャンネルを指定する必要があります。
	CD インデックス (左揃え)	12cm CD ケース用インデックス。 CD ケースに入らない場合に、右端の余白をカットします。このインデックスを指定するには、用紙サイズに 1200×1270 のプリントチャンネルを指定する必要があります。
	DVD インデックス	DVD トールケース用インデックス。 このインデックスを指定するには、用紙サイズに 1270×1780 のプリントチャンネルを指定する必要があります。
ロゴ印刷	<p>チェックを付けると、ラベルインデックスにロゴをプリントすることができます。表示されているイメージがプリントされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [参照] : プリントするロゴを変更します。ロゴにしたい画像ファイルを選択します。 • [デフォルト] : ロゴを工場出荷時のイメージに戻します。 	
レシート印刷	チェックを付けると、注文時にレシートが印刷されます。	
	引換票を印刷	クリックすると、レシートと一緒に引換票が印刷されます。
	引換票の自動カット	チェックを付けると、レシートと引換票の間が自動的にカットされます。
	メッセージ	チェックを付けると、引換票にメッセージを印刷します。 メッセージの内容は、右の空白部分にキーボードで入力します。
	メッセージを注文確認画面にも表示する	チェックを付けると、メッセージが注文確認画面にも表示されます。
	店舗情報	チェックを付けると、レシートに店舗情報が印刷されます。店舗情報の内容は、右の空白部分にキーボードで入力します。
画面表示	価格を表示する	チェックを付けると、画面およびレシートに価格を表示します。
	消費税を表示する	<p>チェックを付けると、価格の総額 (内税) と消費税を別々に表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 税率 : 消費税率を指定します。 • 端数処理 : 消費税の端数処理を選択します。総額に対して端数処理を行います。
	処理時間を表示する	チェックを付けると、画面に予想処理時間を表示します。
CD	メディア価格	CD1 枚あたりの販売価格を設定します。
	メディア処理時間	CD1 枚あたりの処理時間を設定します。
	メディア 1 枚の容量	データコピーサービスのみで有効です。書き込むデータサイズが設定値を超えると、複数枚の CD に分けて書き込まれます。
DVD	メディア価格	DVD1 枚あたりの販売価格を設定します。
	メディア処理時間	DVD1 枚あたりの処理時間を設定します。
	メディア 1 枚の容量	データコピーサービスのみで有効です。書き込むデータサイズが設定値を超えると、複数枚の DVD に分けて書き込まれます。

共有フォルダのネットワークドライブ割り当て

以下の手順で、書き込み用 PC のネットワークドライブに受付端末の共有フォルダを接続します。

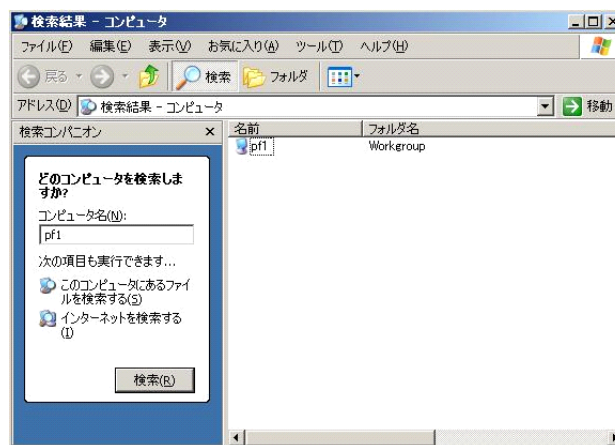
- 1 書き込み用 PC を受付端末と同じネットワークに接続します。
- 2 書き込み用 PC でエクスプローラーを起動します。
- 3 画面左側のフォルダー一覧からマイネットワーク(Windows Vista/7 はネットワーク)を選択して開きます。
ネットワーク上のコンピューターが検索されます。
受付端末のコンピューター名は「pf1」となっています。



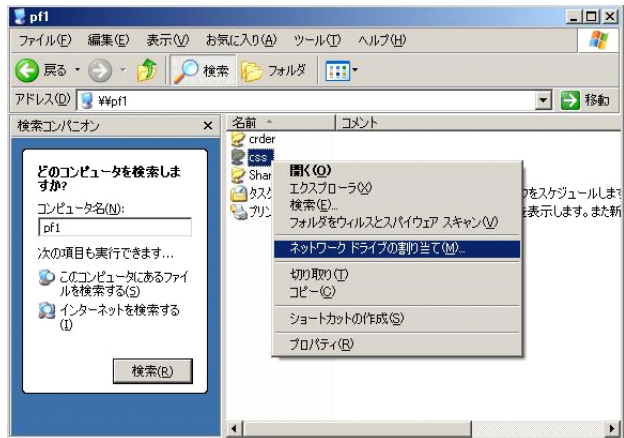
参考

- 複数の受付端末を使用するときは、コンピューター名を次のように読み替えてください。
2 台目：pf2、3 台目：pf3、4 台目：pf4・・・
- 目的のコンピューターが検索されないときは、手動で検索してください。Windows Vista/7 はネットワークウィンドウ右上の [検索] ボックスに、Windows XP はツールバーの検索をクリックして表示される [検索コンパニオン] に、コンピューター名「pf1」を入力します。

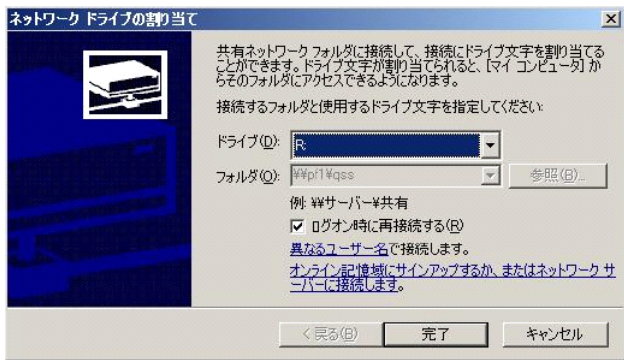
- 4 「pf1」をダブルクリックします。



- 5 一覧表示された共有フォルダから「qss」を右クリックして、ネットワークドライブの割り当てをクリックします。



- 6 割り当てるドライブを選択して、ログオン時に再接続するにチェックを付け、完了をクリックします。
ここでは例として、R ドライブを選択しています。



データコピーサービスの処理の流れ

1 お客様がデータコピーを注文すると、データが受付端末内にコピーされます。

参考

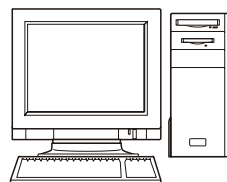
- 出力メディアの1枚あたりの容量よりも画像データの容量が大きいときは、必要な出力メディア枚数分の書き込みフォルダに自動的に分けられてデータがコピーされます。
- オーダー番号は、o000の後に、レシートに記載されている注文番号xxxxを付けた数字です。

処理例

お客様のメディア



受付端末



```
¥DCIM
  ¥xxxx
    00001. jpg
    00002. jpg
    00003. jpg
      .
      .
      .
    00200. jpg
    00201. jpg
    00202. jpg
```

```
C¥Documents and Settings
  ¥All Users
    ¥Documents
      ¥Media
        ¥オーダー番号
```

```
¥1
  ¥DCIM
    ¥xxxx
      00001. jpg
      00002. jpg
      00003. jpg
        .
        .
        .
```

```
¥2
  ¥DCIM
    ¥xxxx
      00200. jpg
      00201. jpg
      00202. jpg
        .
        .
        .
```

2 書き込み用 PC でメディアをセットして、**CD/DVD** 書き込みソフトを起動します。

3 1 枚目の出力メディアへの書き込みを実行します。

ネットワークドライブに割り当てた、受付端末の共有フォルダ下の書き込みフォルダ (R:Media¥ オークター番号 ¥1) 内のファイルを書き込み対象に指定してください。

前ページの処理例の場合

```
¥DCIM
  ¥xxxx
    00001. jpg
    00002. jpg
    00003. jpg
      .
      .
      .
```

4 2 枚目以降のデータがある場合、同じ手順で出力メディアへ書き込みます。

!重要

- オークター番号フォルダ下に 2 以降の番号のフォルダがある場合、2 枚目以降のデータの書き込みが必要です。
- n 枚目の書き込みを行うときは、n 枚目用の書き込みフォルダ (R:Media¥ オークター番号 ¥n) 内のファイルを指定してください。

処理済みデータの削除

すべてのデータの書き込みが終了したら、受付端末内のデータ (オークター番号フォルダ) を削除します。

!重要

処理済みのデータを残したままにしておくと、受付端末のハードディスク空き容量が不足し、動作しなくなる可能性があります。定期的に処理済みデータを削除してください。

こんなときは

次のエラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従って対処してください。

メッセージ	症状	対象方法
メディアをセットし直してください。	メディアがドライブに正常に挿入されていない	メディアが正常に挿入されているかを確認してください。
	メディアのドライブが正しく設定されていない	管理メニューの【メディア設定】で設定します。使用するメディアに対して正しいドライブを選択してください。
	注文完了あるいは中止が選択されたため、メディアへのアクセスが切断された	メディアを挿入し直してください。
お持ちになったメディアには 2000 枚を超える画像が保存されています。メディアから取り込める画像は 2000 枚までです。2000 枚だけ取り込みますか？	2000枚を超える画像がメディアに保存されている	メディアから一度に読み込める写真の数は 2000 枚までです。一旦サービスを終了し、保存されている写真の枚数を 2000 枚以下にしてからやり直してください。
ハードディスクの空き容量が少なくなっています。古いオーダーや不要なオーダーを削除してハードディスクの空き容量を増やしてください。	ハードディスクの空き容量が少なく、このまま使い続けると動作に必要な空き容量に足りなくなる恐れがあります。	処理済みのオーダーデータを削除してください。オーダーデータの削除方法は、「ジョブ管理」、「処理済みデータの削除」を参照してください。 🔗 「ジョブ管理」 15 ページ 🔗 「処理済みデータの削除」 30 ページ
ハードディスクの空き容量が少なくなっています。古いオーダーや不要なオーダーを削除してハードディスクの空き容量を増やしてください。本ソフトを終了します。	ハードディスクの空き容量が少ないため、Print Factory for DPE を実行できません。	処理済みのオーダーデータを削除してください。オーダーデータの削除方法は、「ジョブ管理」、「処理済みデータの削除」を参照してください。 🔗 「ジョブ管理」 15 ページ 🔗 「処理済みデータの削除」 30 ページ
ハードディスクの空き容量が少なくなっています。サービスを提供できません。お近くの係員にお知らせください。	お客様がサービスを選択したときに、ハードディスクの空き容量が動作に必要な容量よりも少ないためサービスを実行できません。	処理済みのオーダーデータを削除してください。オーダーデータの削除方法は、「ジョブ管理」、「処理済みデータの削除」を参照してください。 🔗 「ジョブ管理」 15 ページ 🔗 「処理済みデータの削除」 30 ページ

商標・その他

商標について

- Microsoft、Windows は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

Windows の表記について

- Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
- Microsoft® Vista® XP Business operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版

本書中では、Windows XP または XP、Windows Vista または Vista と表記しています。

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- This software uses libtiff library. (Copyright© 1988-1997 Sam Leffler Copyright© 1991-1997 Silicon Graphics, Inc)

画面について

画面、テンプレートは例です。実際のものとは異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3) 項に関わらず責任を追いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を追いかねますのでご了承ください。